

第12回科学の甲子園ジュニア宮崎県予選会 実施要項

1 目 的

中学校において、科学に高い関心をもつ生徒に、科学技術創造の夢や希望をもたせる機会などを充実させることにより、国内や世界をリードする人材の育成を図る。

また、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、おもしろさを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付くとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材の育成を図る。

2 主 催

宮崎県教育委員会

3 期日・内容

一次予選 令和6年7月27日(土)・・・筆記競技、実技競技
二次予選 令和6年8月24日(土)・・・筆記競技、実技競技、講演会
講演 宮崎大学 工学教育研究部 西岡 賢祐 教授

4 会 場

一次予選 令和6年7月27日(土)
中部教育事務所管内 県教育研修センター
南部教育事務所管内 小林中央公民館
北部教育事務所管内 延岡市社会教育センター
二次予選 令和6年8月24日(土) 宮崎県防災庁舎

5 出場資格

- (1) 同一の学校に在籍し、中学校1、2年生(義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中等部にあっては同年次)の生徒3名で構成する。ただし、同一校における1、2年生の全校生徒数の総計が3名未満の場合は、複数校による合同チームの出場を認める。
- (2) 1校あたり4チーム以内の参加ができるものとする。

6 競技内容と方法

大会競技は、筆記競技と実技競技からなる。筆記競技、実技競技ともに、課題を分担、相談するなど協働して競技に取り組むことができる。

(1) 筆記競技

理科、数学などの複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の習得済の知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

(2) 実技競技

ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題を解決する力を競うものとする。

7 日 程

(1) 一次予選 令和6年7月27日(土)・・・筆記競技、実技競技

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 受付(選手の最終エントリー) | 9:30~10:00 |
| ② 開会式・オリエンテーション | 10:00~10:20 |
| ③ 筆記競技(45分) | 10:30~11:15 |
| 休息(10分) | |
| ④ 実技競技(55分) | 11:25~12:20 |
| ⑤ 閉会式・諸連絡 | 12:20~12:30 |

(2) 二次予選 令和6年8月24日(土)・・・筆記競技、実技競技、講演会

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 受付(選手の最終エントリー) | 11:45~12:00 |
| ② 開会式・オリエンテーション | 12:00~12:20 |
| 休息(10分) | |
| ③ 筆記競技(30分) | 12:30~13:00 |
| 休息(10分) | |
| ④ 実技競技(120分) | 13:10~15:10 |
| 休息(10分) | |
| ⑤ 講演会(90分) | 15:20~16:50 |
| ⑥ 閉会式・表彰式・諸連絡 | 16:50~17:00 |

8 参加申込み

選手登録票(様式1)を記入の上、6月28日(金)までに宮崎県教育庁義務教育課にメール(kurogi-chika@pref.miyazaki.lg.jp)にて直接申し込むこと。

9 その他

- (1) 一次予選の合計得点が上位のチーム(県内15チーム)が、二次予選に進むことができる。一次予選の結果については、予選1週間後を目安に、宮崎県教育委員会ホームページで発表する。
- (2) 教員による引率は不要とする。生徒の送迎については、保護者の責任のもとで行うこと。ただし、学校においては、生徒参加に伴う事前指導を行うこと。
- (3) 県予選会で1位、2位になったチームは、兵庫県で実施される「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」へ派遣する。
なお、派遣期間は、12月13日(金)~15日(日)の2泊3日である。
- (4) 「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」には、必ず教員1名が引率する。なお、サービスについては、公立中学校の場合は出張とし、国立・私立中学校の場合は自校で判断する。また、全国大会出場チームの選手、及び教員の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則として国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が負担する。
- (5) 県予選会及び全国大会開催の有無も含め、実施方法等が変更になる場合もある。